

ライトオン(7445)



－ 今後の既存店動向に注意 －

ライトオンが27日に発表した2016年8月期の決算は、売上高が前期比10.5%増収、営業利益が同61.3%増益となりました。売上高は3月に上方修正した修正計画を小幅に下回りましたが、商品強化や販促効果などにより既存店売上高が9.2%増と高い伸びをみせたことで二桁の増収を確保しています。また、営業利益は季節商品の値下げロス増加による粗利益率の悪化を販管費率の低下でカバーし、ほぼ計画通りの水準に着地し大幅な増益となっています。

今期は粗利益率の改善(1.7ポイント)や既存店売上高3%増などを前提に、売上高が前期比5.2%増収、営業利益が同8.5%増益の計画です。しかし、今期のスタートは厳しいものとなっています。9月(8月21日-9月20日まで)の既存店売上高は、全国的に平年に比べ気温が高かったうえ、度重なる台風の影響もあって羽織物やアウターなどの秋物が苦戦したことなどから12.2%減と二桁の減少となっています。

気候不順により不振となった9月の既存店売上高ですが、そもそも今期の既存店売上高のハードルは高いといえます。昨年10月の既存店売上高は「モコモコジーンズ」のテレビCM効果でのヒットもあって24.5%増と高い伸びとなっています。11月以降も二桁の伸びを示した月が4回あり、前期に前年割れとなったのは今年の7月のみです。今期の既存店売上高の計画は前期実績に比べて高くないものの、今後の既存店の動向には注意が必要です。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会